



「第2回角川つばさ文庫小説賞」一般部門〈大賞〉受賞作

こちらパーティー編集部っ！①

ひよっこ編集長とイジワル王子

作／深海ゆずは 絵／榎木りか

9月15日 発売のお知らせ

株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:松原真樹、ブランドカンパニー長:塚田正晃、以下アスキー・メディアワークス)は、「第2回角川つばさ文庫小説賞」一般部門の〈大賞〉受賞作品『こちらパーティー編集部っ！① ひよっこ編集長とイジワル王子』(作／深海ゆずは 絵／榎木りか)を、KADOKAWAの児童文庫レーベル「角川つばさ文庫」より9月15日(月・祝)に発売いたします。

「角川つばさ文庫小説賞」は、主に9～13歳の児童を読者対象とする「角川つばさ文庫」にふさわしい、エンターテインメント作品を募集する公募企画です。第2回では「角川つばさ文庫」からの出版を前提とする一般部門に205作品の応募が寄せられ、本作が〈大賞〉に選出されました。

宗田理先生をはじめとした選考委員の方々より高い評価(詳しくは後述参照)を受け、全応募作品の頂点に輝いた本作品にご注目ください。

書誌情報

- 【書名】こちらパーティー編集部っ！①
ひよっこ編集長とイジワル王子
- 【作】深海ゆずは 【絵】榎木りか
- 【判型】新書判 【ページ数】256ページ
- 【定価】本体640円(税別)
- 【ISBN】978-4-04-631441-3
- 【発行】株式会社KADOKAWA
- 【編集】アスキー・メディアワークス
- 【書店発売日】2014年9月15日(月・祝)



↑ 表紙イメージ

作品概要

【あらすじ】

「白石ゆの、12才！
ベンキョーも運動も×^{ベツ}だけど編集長やっちゃいます!!!」

あたし白石ゆの。勉強も運動も×^{ベツ}だけど、
ムダに元気な中1女子！

9月から三ツ星学園に転入するんだ。
そんなあたしの夢は「天国のパパが作った幻の雑誌
『パーティー』を復活させる」こと！

幼なじみのく王子>や学園の問題児たちと編集部を作るけど、
マンガ担当のトウマ先輩がチャラすぎて手におえない！

これじゃ文化祭にまにあわないよー！

でも、編集長のあたしがやるっきゃないっ!!

トキメキ&ギャグいっぱい部活コメディ♪



【主な登場人物】

- ゆの このお話の主人公。勉強も運動も×^{ベツ}なおっちょこちょいの元気少女！
- 王子 ゆのの幼なじみ。昔は嫌味なちびっこだったのに、今はクールなイケメンに！女子生徒に大人気。ゆののことが…。
- しおり 初対面でゆのを「生け贄^{にえ}」と呼んだ、怪しすぎるホラー少女。
- エンマ 全校生徒どころか全先生の秘密をにぎる、恐るべき情報通。
- トウマ先輩 校内で女子の人気を王子と二分する、学校のアイドル。一見チャライ、女の子好き。でも実は……!?

著者について

深海ゆずは（ふかみ・ゆずは）

1977年11月26日生まれ。東京都在住。女性。会社員。趣味は旅行と食べ歩き。好きな言葉は「想像力より高く飛べる鳥はいない」「迷った時は前に出る」。

選考委員の先生方から寄せられた、本作への選評より

あいはらひろゆき先生（作家。著書に『くまのがっこう』『がんばれ！ルルロロ』『クローバーフレンズ』など）

雑誌作りという目標に明るく、かつエネルギーに挑戦していく主人公がとてもチャーミングで、フレッシュな若者像を見事に作り上げていたと思います。編集部の仲間や天才漫画家(?)トウマ先輩など脇のキャラクターも皆魅力的で、ストレートな物語に抑揚をつけていたと思います。何より、とても読みやすく、スピーディな文体は若い読者層にとっては感覚的にとてもよくマッチするもので、次々とシリーズを読破していく姿が今からもう見えるようです。

宗田理先生（作家。代表作『ぼくらの七日間戦争』。「ぼくら」シリーズは角川つばさ文庫でも大人気）

最終候補4作の中では一番よかった。『超おもしろい本を作る事』が夢の中学1年生、ゆのは、転校してきた初日、登校中に学校一の不良である赤松とケンカ。クラスでの自己紹介では、文化祭で雑誌を作って配る、といきなりみんなに宣言してしまう。ここまででも主人公の、少しおっちょこちょいだが、バイタリティーあふれるキャラクターがよくわかる。宣言はしたものの、雑誌作りは容易ではない。一緒に頑張ってくれる仲間が必要だ。ゆのが粘り強くスカウトするなどして、集まったメンバーたちが、皆、ひと癖もふた癖もあっておもしろい。占いオタクの編集部員、しおりの占いに導かれて、学園一のアイドル、2年生の青木に、雑誌の目玉としてのマンガを依頼するのだが、この男、調子がいいが、一筋縄ではいかない。あっさりもらえた原稿は、内容がめっちゃめっちゃ。書き直しを要求すると、青木は激怒。と

はいえ、雑誌作りにこういう著者はつきもの。ここで諦めたら、原稿はとれない。さあ、どうするか？編集者の腕の見せどころだ。ハラハラドキドキの連続の中、ついに創刊号を刊行してしまうのは感動的でもある。文章もリズムがあって読みやすい。ゆのには、第2号も作らせてみたい。今度は連載小説や先生のゴシップネタなども載せて……？ 今後の展開をも、期待させる作品である。

本上まなみ先生（女優、タレントとして活躍するほか、エッセイや絵本などの著作も多数）

マンガ的な文体がいいテンポを創り出し成功している作品。まわし蹴りが得意というヒロインの直情径行っぷりに加え、漫画家の母親やその編集担当、ハンサムな幼なじみ、色男の先輩等々、彼女を支える周囲のキャラクターが魅力的です。

※選評全文は、角川つばさ文庫小説賞公式サイト内

(<http://www.tsubasabunko.jp/award/announce-otonaVol02.php>)に掲載しています。

角川つばさ文庫とは

2009年3月創刊。「次はどんな本を読もう?」そんな子どもたちの「読みたい気持ち」を応援する、KADOKAWAが発行する児童文庫レーベル。KADOKAWAの持つコンテンツや読者を楽しませるノウハウを子どもたちのために駆使し、青春、冒険、ファンタジー、恋愛、学園、SF、ミステリー、ホラーなど幅広いジャンルの作品を刊行しています。レーベル名には、物語の世界を自分の「つばさ」で自由自在に飛び、自分で未来をきりひらいてほしい。本をひらけば、いつでも、どこへでも…そんな願いが込められています。主な作品に『ぼくらの七日間戦争』『新訳 ふしぎの国のアリス』『怪盗レッド』『サトミちゃんちの8男子』シリーズなど。毎月15日発行。

●角川つばさ文庫公式サイト: <http://www.tsubasabunko.jp>

角川つばさ文庫小説賞とは

2011年、小・中学生の子どもたちに、もっと読書を楽しんでもらいたいという願いを込め、設立された小説賞。「角川つばさ文庫」からの出版を前提とする〈一般部門〉、応募資格を中学生以下に限定した〈こども部門〉に加え、第2回より角川つばさ文庫で活躍できるイラストレーターを求める〈イラスト部門〉を設立しました。第1回の〈一般部門〉大賞受賞作品『四年霊組こわいもの係』(著/床丸迷人 絵/浜弓場双)は角川つばさ文庫より現在発売中です。

●角川つばさ文庫小説賞公式サイト: <http://www.tsubasabunko.jp/award/>

<ご参考>

■アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーとは

アスキー・メディアワークスなど事業会社8社が、KADOKAWA合併後もそれぞれのブランドのもとで自由に事業を展開、発展させていくための新しい組織概念が『ブランドカンパニー』です。

アスキー・メディアワークス ブランドカンパニーは、「電撃」「アスキー」「魔法のiらんど」の3つのブランドを軸に、エンターテインメント分野を中心とした事業を展開。出版を基盤に、ウェブ・モバイル、電子書籍、アプリ、映像、音楽、グッズ、ゲーム、イベントなど、メディアを超えてコンテンツをプロデュースしています。

●KADOKAWAオフィシャルサイト: <http://www.kadokawa.co.jp/>

●アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー公式サイト: <http://asciimw.jp/>

以上

【本件に関する報道関係からのお問い合わせ先】
株式会社KADOKAWA アスキー・メディアワークス ブランドカンパニー
事業推進局
TEL: 03-5216-8123 FAX: 03-5216-8124 E-mail: amw-pr@ml.kadokawa.jp